

製品名: Ki-67 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab13003

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	360kDa

抗原情報

遺伝子名	MKI67
別名	MKI67; Antigen KI-67
遺伝子 ID	4288.0
SwissProt ID	P46013
免疫原	抗血清はヒト Ki67 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 3207-3256

背景

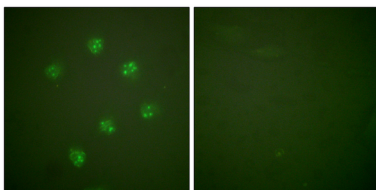
この遺伝子は、細胞増殖に関連し、おそらく細胞増殖に必要である核タンパク質をコードしています。選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが記載されています。関連する疑似遺伝子が X 染色体上に存在する。[RefSeq 提供、2009 年 3 月], 発生段階: この

抗原の発現は、細胞周期の G1 期後期、S 期、G2 期、M 期に優先的に起こりますが、G0 期の細胞では抗原は検出されません。機能：細胞増殖の維持に必要であると考えられています。オンライン情報：Ki-67 エントリ,類似性：1つの FHA ドメインを含みます。細胞内局在：G1 期では主に核小体領域に局在し、後期には核内部にも検出され、主に核マトリックスに局在します。有糸分裂では、すべての染色体に存在します。サブユニット：KIF15 と相互作用します。FHA ドメインを介して MKI67IP にバインドします。

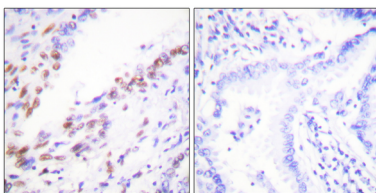
研究分野

細胞生物学

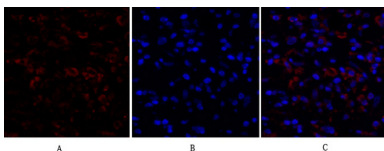
画像データ



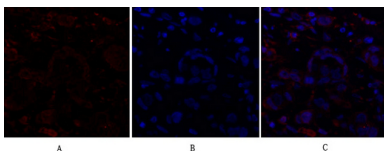
Ki67 抗体を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



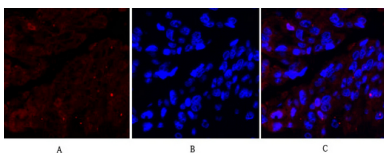
Ki67 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



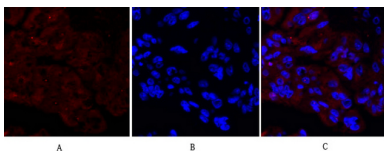
ヒト乳がん組織の免疫蛍光染色。1, Ki-67 ポリクローナル抗体（赤）を 1:200 に希釈（4℃、一晚）。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈（室温、50 分）。3, 図 B: DAPI（青）10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



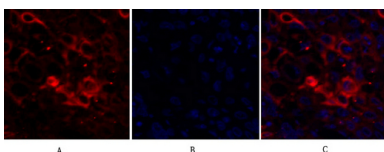
ヒト乳がん組織の免疫蛍光染色。1, Ki-67 ポリクローナル抗体（赤）を 1:200 に希釈（4℃、一晚）。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈（室温、50 分）。3, 図 B: DAPI（青）10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



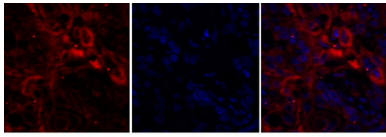
ヒト肝癌組織の免疫蛍光染色。1, Ki-67 ポリクローナル抗体（赤）を 1:200 に希釈（4℃、一晚）。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈（室温、50 分）。3, 図 B: DAPI（青）10 分。図 A: 標的。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



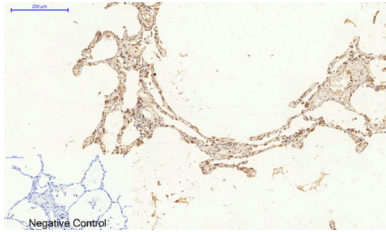
ヒト肝癌組織の免疫蛍光染色。1, Ki-67 ポリクローナル抗体（赤）を 1:200 に希釈（4℃、一晚）。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈（室温、50 分）。3, 図 B: DAPI（青）10 分。図 A: 標的。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



ヒト肺癌組織の免疫蛍光染色。1, Ki-67 ポリクローナル抗体（赤）を 1:200 に希釈（4℃、一晚）。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈（室温、50 分）。3, 図 B: DAPI（青）10 分。図 A: 標的。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



ヒト肺癌組織の免疫蛍光染色。1, Ki-67 ポリクローナル抗体（赤）を 1:200 に希釈（4℃、一晚）。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈（室温、50 分）。3, 図 B: DAPI（青）10 分。図 A: 標的。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



パラフィン包埋ヒト肺組織の免疫組織化学染色。1. Ki-67 ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈（4℃、一晚）。2. クエン酸ナトリウム（pH 6.0）を用いて抗体賦活化（>98℃、20 分）を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈（室温、30 分）。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。